

# 2013 希望の明日へ

校長だより  
NO.40  
H26.3.24  
岡山県立倉敷琴浦高等支援校

平成22年4月13日に開校式と第1回入学式を挙げて以来、日々の授業や行事で見せてくれる生徒たちの様子が、けなげ健気で新鮮で、感動の毎日でした。そんな生徒たちの様子を保護者の皆様にお伝えしたくて発行してきた校長だよりですが、いよいよ最終号となりました。



「希望の明日へ」というタイトルは、第1期生が開校式・入学式で歌った歌「明日という大空」と校訓の「希望」を合わせてつけたものです。開校式・入学式の時にはまだ校歌ができておらず、校歌の代わりに歌ったのですが、たった24名とは思えないくらい元気よく歌ってくれたので、感激したのを覚えています。また何度も練習したように上手だったので、来賓として来てくださっていた、当時の石井県知事さんに「これは校歌なんですか？」と言っていたのも嬉しい思い出です。

最初は毎週定期的に発行するつもりではなかったのですが、お知らせしたいことが結構あって、結局22年度は36号、23年度は35号、24・25年度は40号発行しました。今、読み返してみると、その時、その時のことが蘇り、生徒たちの頑張る姿に励まされて今日までやってこれたんだなあと思っています。

さて、2年生はいよいよ最高学年、進路について本格的に考えなければならない時期となります。3年生になると前提実習（就職を決めるための実習）やキャリアトレーニング（就職が内定した事業所での実習）が続き、学校での授業日数はぐっと少なくなります。本当にあっという間に卒業式がやってくる感じではないでしょうか。一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。また、1年生は初めての後輩を迎えます。この学校の中核として、良いお手本を新1年生に見せてください。学校生活で多分一番楽しみな行事、修学旅行もあります。現場実習も期間が長くなり、厳しさが増してきます。でもそれだけに大きな成長が期待できる時期でもあります。さらなる飛躍を期待しています。

この学校に入学して、どの生徒も成長してくれていると思います。でも、日々どれだけ自覚をもって生活しているかで成長の度合いに違いが出てきます。「就職を目指してがんばるんだ」という自覚、「倉敷琴浦高等支援学校の一員なんだ」という自覚…どうか、残された日々を自覚をもって大切に過ごしてください。皆さんの

## ありがとうございました！



成長を心から祈っております。保護者の皆様にはご支援ご協力をいただきありがとうございました。

どうか今後ともよろしくお願いいたします。